

HW31

$T \geq 2$ とする。

(1) イデアルのうち、 T から 2 つ以上の元を除いた集合の冪集合で構成されるもの。(ex. $T = \{1, 2, 3\}$ なら $\{1\}, \{2\}, \{3\}, \{\phi\}$ それぞれの冪集合を例として考えれば良い。) 取り除いた元を a, b, c, \dots とすると、この中の任意の 2 つの元のみを要素に持つ部分集合同士の積 (ex. $\{a\}\{b\}$) で ϕ が計算されるが、このとき、そのイデアルを I として $\{a\} \notin I, \{b\} \notin I$ が仮定より明らかである。よって定義を満たさず素イデアルではない。

(2) S からひとつだけ元を除いたものの冪集合で構成されるイデアル I 。除いた元を x とし、 x とその他の任意の元を含む集合の冪集合を X , その元のうち、 x を元として含む集合の集合の元 Y (ex. $T = \{1, 2, 3\}$ で 3 をのぞいたなら、3 を元にもつ集合の集合は $\{\{1, 3\}, \{2, 3\}, \{1, 2, 3\}, \{3\}\}$ であるから Y の候補は $\{1, 3\}, \{2, 3\}, \{1, 2, 3\}, \{3\}$ である。) とし、イデアル内の任意の元を V とすると、 $YV = \phi$ となるのは、 V が x を元として持つ集合でありえないことから明らかである。また、これは仮定より $V \in I, \phi \in I$ であるから素イデアルの定義を満たす。よって、 $T: \text{finite set}$ $\text{pe}(T)$ のイデアルのうち、素イデアルとなるのは $\mathfrak{P}(T - x)$ (x は T の任意の元 1 つ) に限られる。

HW32

$84 = 2^2 \times 3 \times 7$ であるから、 $\phi(84) = \phi(2^2) \times \phi(3) \times \phi(7) = (2^2 - 2^1) \times (3^1 - 3^0) \times (7^1 - 7^0) = 2 \times 2 \times 6 = 24$ である。よって $(\mathbb{Z}/84\mathbb{Z})^\times$ の位数は 24。